

ハチドリが不思議ってど
ういうことだろう？

ハチドリとは...



鳥のうちでいちばん小さく、体の
長さがわずか3センチという種類も
います。

小さな巣を作って、豆粒ぐらいの
卵を産みます。

花のみつを食物にしています。

〔感想・気付き〕

組	番

内容紹介リーフレット

~こんな勉強をしています！~

「ハチドリの不思議」
について知ろう！



ハチドリが不思議ってどういうことだろう？

ハチドリの生活の様子から見てみると...

Q1 ハチドリが生きていること自体が不思議なのはなぜ？

A1 こんな小さな鳥が生きていられるはずがないからです。

ハチドリは、体温を保つのに必要な熱を発生する体の大きさのわりに、熱が逃げていく表面が大きすぎるので、ずっと熱をおぎなっていないではなりません。だから、食物を食べるのをやめたら、すぐに体温が低下して凍死してしまうのです。ハチドリも夜は眠らなくてはなりません。夜の間12時間近くも食べ物を食べなかったら、きっと体温が下がって凍死してしまうはずですよ。



自転車はこぐのをやめたら倒れてしまう。

会社は収入が絶たれたら倒産してしまう。

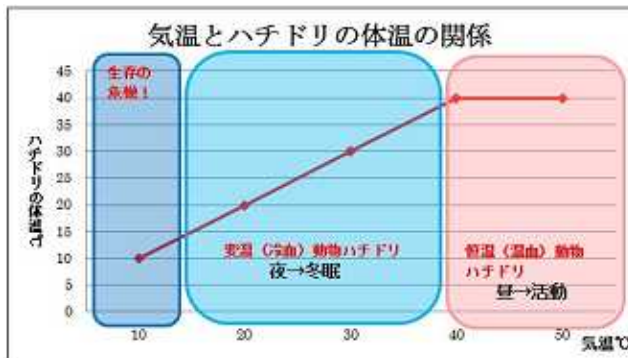
ハチドリは自転車操業？！

ハチドリは食べるのをやめたら凍死してしまう。

ハチドリはギリギリで生きている！

Q2 ハチドリが長い年月にわたってちゃんと生きているのはなぜ？

A2 **ハチドリが毎晩冬眠に入るからです。**
ハチドリは、夜が来ると、温血動物（恒温動物）であることをやめて、昆虫や虫類と同じ冷血動物（変温動物）になります。やがて朝が来て気温がどんどん上がり始めると、ハチドリの体温もそれにつれて上がっていきます。そして、体温が一定の値を超すと、ハチドリは目覚め、恒温動物となって、花のみつを求めて飛び立つのです。ハチドリは、この能力を遺伝的に身に付けたのでしょう。



Q3 ハチドリは、夏の夜が暑い東京や大阪なら生きていけるだろうか？

A3 **いいえ、生きてはいけません。**
夜も暑かったり、冬があったり、雨が長く降り続いたり土地では、ハチドリは死んでしまいます。だから、ハチドリは中南米の一部にしかすんでいないのです。もし、中南米の気候が変わってしまったら、ハチドリは滅びてしまいます。それは、ハチドリが持って生まれた遺伝的仕組みと環境とが合わなくなってしまうからです。

筆者の言いたいことを代わりに言うと...

ハチドリが生きるためにはいろいろな条件があって、それがそろって初めて生きていけるのです。自然や環境についても興味を持って考えて下さいね！